

抗疲労臨床評価における疲労感の評価方法

特定保健用食品の抗疲労臨床評価における疲労感の評価方法としては Visual Analogue Scale (VAS) 検査が有用である。VAS 検査の方法は 100 mm の線分とし、別紙の検査用紙(日本疲労学会推奨)に示すように、被験者に記載方法について十分教育した後に実施することが望ましい。ただし、他の検査用紙を用いて得られたデータについても、その検査方法の有用性(Chalder Fatigue Scale との相関など)を示すことができれば、疲労感評価のデータとして用いることが可能である。